サスティナブルとやま2009 地球にやさしい富山県民大会

～地球温暖化防止県民大会&生物多様性シンポジウム

持続可能な低炭素社会を目指す「サスティナブルとやま2009 地球にやさしい富山県民大会～地球温暖化防止県民大会&生物多様性シンポジウム」は12日、高岡市のウイング・ウイング高岡で開かれました。地球温暖化防止に貢献した8個人・団体を表彰したほか、活動事例発表、生物多様性についての講演、エコソング「ピカピカの地球」歌詞コンテスト発表会もありました。

地球温暖化防止県民大会は環境に対する理解を深め、県民挙げて温暖化防止に取り組む機運を高めようと、県、とやま環境財団などが毎年開いています。

今回は、タイトルにある「サスティナブル（sustainable、持続可能な）」という視点から、地球温暖化と生物多様性について考えました。

地球温暖化防止に貢献した個人や団体を表彰

8個人・団体表彰

表彰を受けた砺波市連合婦人会は、マイバッグ運動をはじめ、節水、節電を推進して地域全体で積極的な活動をしています。中央農業高校農業クラブは学校全体で電気使用量の削減に挑戦しており、中島晴美さん（高岡市）は楽しみながらできる省エネメニューに取り組んでいます。

活動事例として、間伐材を利用した人工魚礁を沖に設置している魚津市四地区沿岸漁業者グループが日ごろの実践を発表しました。

あいさつ

石井知事

地球温暖化は、異常気象や海面上昇を引き起こすなど、人類の生存に関わる重要な環境問題であり、世界中の人々が協力して取り組まなければならない、待ったなしの課題です。また、地球温暖化や自然破壊など、あまりにも大きくなった人間活動が、様々な生物や生態系に大きな影響を及ぼしています。

こうしたなか、富山県では、県民の皆様のご協力のもと、全国初となる県内全域でのレジ袋の無料配布廃止をはじめ、エコドライブ推進大運動、小水力発電や住宅用太陽光発電の導入促進、「水と緑の森づくり税」を活用した里山林の再生など、幅広い取組みを進めています。

また、大会開催地の高岡市でも、割りばしリサイクルや竹資源の有効活用、自転車を活かしたみちづくり・まちづくりなど、市民・企業・行政の連携による様々な取組みが行われています。

今後とも、県民皆様と力をあわせて、環日本海地域をリードする「環境先端県」づくりに取り組んでまいりますので、一層のご理解とご協力をお願いします。

持続可能な低炭素社会へ

生物多様性講演会は、来年、名古屋市で開催される生物多様性条約第10回締約国会議のパートナーシップ事業として、（財）環日本海環境協力センターが開催し、東京大大学院新領域創成科学研究科の木村伸吾教授が講演しました。

講演会

マグロに迫り来る危機

～地球温暖化が海の生物多様性に及ぼす影響～

東京大大学院新領域創成科学研究科 木村 伸吾教授

クロマグロやウナギの生態や、環境変動の影響について話す木村教授

クロマグロは太平洋の熱帯・温帯域に分布し、その一部は日本からアメリカ西海岸に至る広い海域を回遊する魚として知られ、長時間高速で遊泳することが可能です。クロマグロの産卵場は南西諸島（沖縄近海）にあり、春には北で栄養を蓄えた親魚が産卵のため南下します。

近年、地球温暖化によって海水温が上昇し、日本海では冷たい北の水と温かい南の水の間に形成される水温前線が明瞭に見られ、産卵に適した水温帯が形成されるようになってきました。そこにクロマグロが集まることによって、多くの漁船が操業するようになり、日本海でのクロマグロの漁獲が増えています。一方、漁場が限られてしまうことから、資源枯渇が危惧されています。

土用の丑の日に食べるなど、日本人にとってなじみの深い魚であるウナギもマグロと同様に、産卵場と産卵時期が極めて限定的です。最近の調査によって、ウナギの産卵場が日本のはるか南、グアム近海にあることが明らかとなりました。親ウナギは産卵のために数千キロにもわたる大回遊を行います。稚魚が日本に来るためには、北に輸送される必要がありますが、地球環境の変動に伴い海洋環境が変化すると、産卵場所が変わってしまい、その結果北に輸送されず、日本まで来ることができなくなってしまいます。

温暖化が産卵場に影響

マグロもウナギも産卵場がピンポイントだけに、海洋環境の影響を受け、地球温暖化やエルニーニョなどの気候変動が起きると、資源量が大きく変動する可能性があります。

日本はマグロとウナギの大量消費国であるがゆえの国際的な責務を忘れ、行きすぎた市場原理に基づく価格設定や需要と供給のバランスが崩れています。毎い改めて「食い改め」ましょう。サスティナブルな社会形成に非常に重要です。

資源管理が無用なゆとりある未来へ向けて、偏った食生活の改善、カツオやサンマなど良好資源の活用、付加価値を付けた輸出産業へ育成することです。世界第6位の広大な排他的経済水域を保有する日本は何を目指すのか、我々は常に考えていかなくてはなりません。

環境とやま県民会議会長表彰

（地球温暖化対策部門）

長年にわたり、省エネ活動など地球温暖化対策の推進に顕著な功績をあげた。

団体の部 砺波市連合婦人会

マイバッグ運動や、水と人に優しい石けんを使う活動、家庭でできる温暖化防止活動を推進し、CO_2削減に貢献。地域全体で積極的に取り組んでいる。

事業所の部 森永北陸乳業株式会社 富山工場

環境負荷の少ない企業活動に取り組むと共に、食品関係では、県内初のエコアクション21認証取得事業所として、リーダー的役割を担っている。

とやまストップ温暖化アクト賞

温暖化防止の優れたアイデアや対策技術の導入など、その取り組みが優れている。

個人部門 野崎弘之さん（高岡市）

「ふたつかエコクラブ（高岡市二塚小）」のサポーターとして、学習発表会で地球温暖化問題を取り上げた創作劇などを積極的に指導した。

中島晴美さん（高岡市）

楽しみながらできる省エネ・エコライフのメニューを実践。小学校などで地球温暖化対策の講師を務め、聞き手に合わせて教材を工夫している。

団体部門 富山県立中央農業高校 農業クラブ

廃食用油をバイオディーゼル燃料としてトラクターなどに再利用。牛糞と食品残さの堆肥化や学校全体で電気使用量の削減に取り組んでいる。

社団法人 日本青年会議所 北陸信越地区富山ブロック協議会

「外出15分前には冷暖房をオフにしよう」など、「指一本」で簡単に取り組める運動を実施し、講演会で県民に呼び掛けを行っている。

企業部門 株式会社 丸八

ＩＳＯ14001を取得し、チーム・マイナス６％に取り組み、排出権付太陽光発電システムの販売で温室効果ガス排出量の削減に貢献している。

株式会社 住まい・環境プランニング

断熱性能を高めた工法の開発や太陽光発電システム設置者へのグリーン電力証書買取サービスの実施などに取り組んでいる。

最後まで大切にしよう♪

「ピカピカの地球」歌詞発表

「ピカピカの地球」歌詞コンテストは、とやま環境財団が県内小学生を対象に替え歌の歌詞を募集し、505人の小学生から555曲の応募がありました。

発表会では最優秀賞に選ばれた児童たちがステージで、自分たちの作った歌詞を披露しました。自分たちの日常を見つめ、無駄を減らそうと呼び掛ける歌詞に会場から大きな拍手が送られました。

「ピカピカの地球」は、県民1人1人の日常生活の中で、環境に優しい生活様式「エコライフスタイル」が定着することを目指し、音楽とECO（エコ）な毎日をコンセプトに、シンガーソングライターの高原兄さんが作詞作曲を手掛けました。

㊤考えた替え歌を歌う針原小の児童
㊦長田りさらさん（左）と姉のるうりさん
㊨オリジナル曲を歌うWing Sing少年少女合唱団

歌詞コンテスト最優秀賞作品（一部抜粋）

【学年・クラスの部】
立山町釜ヶ渕小３年

国語のノートに
１行だけで
次のページに
いっちゃダメだよ

まだ書けるえんぴつ
捨ててはいないか
えんぴつ泣いてる
ぼくまだまだ書けるのに

１つ１つの心づかいから
広がる幸せ
少しずつでいいから
ムダなことはやめよう

【グループの部】
富山市針原小４年１組
（荒田 珠良、上段 直也、平野 里歩、麻柄 叶那）

しょっきを洗う時
しばらく水につけ
よごれが落ちたら
洗ってみようよ！

米のとぎじる
すててないかい
水やりに使えば
役に立つんだよ！

こんなにかんたん
小さなことからできるはずだよ
みんなもチャレンジ
地球を守るため

【個人の部】
長田 りさら
（富山市桜谷小１年）

あれほしい
これもほしい
おねだりばかり
していないかい

つくえのひきだしを
あけてみると
けしごむ10こに
えんぴつ20本
まだおくにもかくれんぼ

こんなにたくさんひつようない
おこづかいもすぐへるし
さいごまで
たいせつにしよう

特別賞（高岡光陽）
寺島美咲（高岡市能町小４年）
（敬称略）

優秀賞
【学年・クラスの部】
富山市山室中部小５年１組
【グループの部】
ボーイスカウト氷見第２団カブ隊１組
【個人の部】
吉川空夢（舟橋村舟橋小３年）

奨励賞
【学年・クラスの部】
射水市歌の森小４年、入善町ひばり小４年
【グループの部】
富山市針原小４年１組（太田結子、滝谷七海、吉田葵）
【個人の部】
古川惇皓（富山市光陽小４年）、佐野友香（武豊市同中央小４年）、寺山未紗（得能詩織（高岡市能町小４年）、中瀬喜貴（黒部市若栗小４年）、本間健太（射水市堀岡小４年）、赤尾香菜子、米田優理亜（同市大島小４年）、清水結衣、宮崎博子、廣林かんな（同市小杉小４年）、北川魁大（高岡市戸出東部小５年）、中川裕介（黒部市前沢小５年）、榊原政美（上市町宮小５年）、柴田裕香（高岡市石堤小６年）、須藤綾華（富山市熊野小６年）、安川夏星（富山市古里小６年）

企画・制作／北日本新聞社営業局

主催：富山県、高岡市、富山県地球温暖化防止活動推進センター（（財）とやま環境財団）、（財）環日本海環境協力センター、環境とやま県民会議

maruhachi
地球と自然にやさしく
美しい地球を子供達のために…
LPガス・オートガス・太陽光発電・総合建設材 株式会社 丸八
本社／魚津市北鬼江364
TEL.(0765)24-1311(代) FAX(0765)24-8807
みんなで止めよう温暖化 チーム・マイナス6%

太陽光発電システムを標準装備したR&E(SUN)工法
R&E(SUN)工法…太陽光発電システムの導入費用低減と償却期間短縮に貢献します。
コストを抑え、北海道・北東北レベルの断熱性能となる、当社開発「R&E」工法住宅に太陽光発電システムを標準装備。その際、設置する太陽光発電システム導入の お施主様負担を低減するため、kw当たり10万円（4.44kw以下の設備対象）分を当社が負担致します。また発電した電力で自己消費した分のグリーン電力を証書化した「グリーン電力証書」10年間分を当社が購入し、お施主様の太陽光発電システム導入費用の償却期間短縮を図るシステムです。
太陽光発電のある暮らし
環境に優しく、家計に優しい電力会社の料金レシートが待ち遠しくなる住まい
太陽光発電普及促進のため
●太陽光発電導入費用を低減
◇国・県・市町村の補助
◇当社キロワット当たり10万円の補助
（例）太陽光発電導入（4.44kw/富山市）費用低減合計金額 854,800円
●太陽光発電導入費用償却期間短縮
◇「余剰電力買取制度」で買取単価が約２倍
◇当社の「グリーン電力証書」購入システムを活用
Y様邸 1年間の光熱費（H20.5～H21.4）
電力会社から買った電力量／料金 9224kwh／123,026円(A)
太陽光で発電し売った量／金額 2989kwh／77,491円(B)
1年間の光熱費(C)=(A)−(B)45,535円
Y様邸はオール電化住宅で現在の光熱費は月3,795円となっています。国の政策である、余剰電力買取制度のもとで、Y様邸は10年間、光熱費ゼロはもとより収入創出住宅となる可能性があります。
R&E planning
「人と地球に優しさをクリエイト（創造）」
住まい・環境プランニング
Residence & Environment Planning Office
〒939-0306
射水市手崎445番地2
TEL/FAX:0766-55-1872
E-ﾒｰﾙ：rep@sumai-kp.jp
http://www.sumai-kp.jp

MAZDA AXELA
エコ・スポーツ
いつもどおりの運転で、知らないあいだにエコドライブ。
第6回エコプロダクツ大賞 エコプロダクツ部門 国土交通大臣賞受賞
2010 RJC テクノロジーオブザイヤー受賞
新・環境技術 i-stop
マツダの新・環境技術i-stop（アイ・ストップ）が環境負荷の低減に配慮したすぐれた技術であると評価されました。
北陸マツダ
富山市新庄町4-2-5 Tel(076)495-7500
www.hokuriku-mazda.jp/